

令和5年度第1回宗像市スポーツ推進審議会 次第

日 時	令和5年8月2日（水）14:55～16:05	
会 場	宗像市役所 204会議室	
出席者	委 員	青野、市丸、大賀、末永、釜瀬、西村、村山、石松
	事務局	大塚課長、南参事、吉丸係長、上田係長、末永、水田、井上

【開会】

大塚課長： 本日は、任期満了後の最初の会議となるため、会長の選任までは事務局で進行をおこなう。

次第に先立ち資料の確認をする。

（資料の確認）

次第に沿って進める。

開会のあいさつを高宮教育長よりおこなう。

1 開会あいさつ

高宮教育長あいさつ

2 委嘱状の交付について

大塚課長： 委嘱状の交付を高宮教育長よりおこなう。

青野委員より名簿の順番でお願いします。

～高宮教育長より交付～

大塚課長： 次の自己紹介をおこなう。

3 委員及び市職員の紹介について（自己紹介）

大塚課長： 市丸委員から時計回りでおこなう。

～出席者自己紹介～

4 会長、副会長の選任について

大塚課長： 次第に沿って、本審議会の会長、副会長の選任をおこなう。

宗像市スポーツ推進審議会条例第5条に基づき、会長・副会長を選任したい。条例第5条第2項により互選となるので、どなたか推薦があればお願いしたい。

（推薦者無し）

ないようでしたら、事務局案を提案したい。会長に市丸委員、副会長に末永委員を提案する。皆様いかがか。

それでは、ご異議なしということで、会長を市丸委員、副会長を末永委員にお願いしたい。

会長、副会長はお席のご移動をお願いします。

（移動）

会長、副会長より一言ずつご挨拶をいただきたい。

（会長、副会長挨拶）

それではこれより、市丸会長に進行をお願いする。

5 議事録（議事要旨）署名委員の指名について

市丸会長： 議事録（議事要旨）署名委員の指名について事務局から説明する。

大塚課長： 議事録署名委員の選出をおこなう前に議事録の作成方法について確認する。

宗像市市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例施行規則第6条第1項の(1)発言が発言したすべてを記録する方法。(2)発言者の発言ごとに当該発言の要点を記録する方法。(3)会議内容の要点を記録する方法。の中で(2)発言者の発言ごとに当該発言の要点を記録する方法を採用したいがよろしいか。

（委員の皆様より承認）

結果：(2)発言者の発言ごとに当該発言の要点を記録する方法

続いて、議事録署名委員の指名をおこなう。名簿の順番で青野委員、石松委員にお願いしたい。

（両委員が承認）

結果：議事録署名委員は青野委員と石松委員

6 報告、審議事項

市丸会長： 報告、審議事項に移る。

事務局より1つ目から説明をおこなう。

・第3期宗像市スポーツ推進計画の諮問について

大塚課長： 高宮教育長より第3期宗像市スポーツ推進計画の諮問をお願いする。

（高宮教育長が諮問を読み上げて市丸会長へ渡す）

大塚課長： 第3期宗像市スポーツ推進計画の諮問については以上になりますが、教育長は所用によりここで退席する。

（高宮教育長退席）

・宗像市スポーツ推進審議会について

末永（文化スポーツ課）： 宗像市スポーツ推進審議会条例に基づいて説明をする。

条例第1条のスポーツ基本法第31条に基づいて審議会を設置する。

スポーツ推進計画の策定についてご意見を皆様にいただきたい。

条例第3条に基づいて9名の方に委嘱する。

条例第4条に基づいて任期は2年間となっている。

・第3期宗像市スポーツ推進計画の策定について

上田係長： スポーツ推進計画の概要は、本市のスポーツの推進に関する施策の基本的な方向性を定めた計画である。

スポーツ推進計画の主な上位関連計画については、「宗像市総合計画」は、本市のまちづくりの方向性を定めた計画で上位計画、「健康むなかた21」は、市民の健康の増進に関する施策の基本的な方向性を定めた企画で関連計画、「宗像障がい者計画」は、障がいがある人に関する施策の基本的な方向性を定めた計画で関連計画、「宗像市学校教育基本計画」は、本市の教育の中長期的な目標や基本的な方向性を定めた計画で関連計画となる。

スポーツ推進計画の位置づけは、スポーツ基本法第10条に基づく地方スポーツ推進計画で、宗像市総合計画の個別計画にあたる。

スポーツ推進計画の期間については、現在は第2期にあたり令和6年度までの計画となっており、今年度から来年度にかけて令和7年度からスタートする第3期スポーツ推進計画の策定にあたる。

第2期スポーツ推進計画の目標については、エンジョイ、健康、交流、スマイルキッズという4つのチャレンジを掲げて、スポーツで笑顔・元気あふれるまちづくりを目標に掲げている。

第3期（R7～R11）の計画策定の考え方については、令和6年度で第2期の計画が終了するため、令和7年からの計画を策定。

計画策定の方針については、「健康むなかた21」や「障がい者計画」、「学校教育基本計画」など、関連計画との整合性を図り、市民からアンケートを取り、その結果を踏まえて策定し、本市の現状をできる限り見える化(数値化)し、5年後に達成したい数値目標を掲げたいと考えている。

第3期スポーツ推進計画の策定の体制については、宗像市スポーツ推進審議会へ宗像市から諮問し、答申をいただく。

宗像市については、事務局（文化スポーツ課）が関係課にヒアリングをおこないながら原案を作成し、最終的に教育委員会に決議をいただく。

策定については、スポーツ関係団体等のヒアリング、2,000人程度の市民アンケートそしてパブリックコメントを行って原案を作成していく。

第3期スポーツ推進計画の策定スケジュールについては、令和5年度の8月に第1回目のスポーツ推進審議会を開催し、諮問とスケジュールの説明。

事務局で現状と課題の整理を配布の参考資料（スポーツ推進計画進捗状況）をもとに整理し、次回の審議会で説明する。

資料では第2回目が9月となっているが、整理に時間を要した場合は、日程を延期させていただく場合があるのであくまで予定ということでご理解いただきたい。

第2回の審議会で現状と課題についてご意見をいただいたのち、市民アンケートの内容の作成をおこなって審議会でご意見をいただく。

その後、市民アンケートの発送をおこない、集計、分析をおこない結果を2月ごろ第3回の審議会で報告しご意見をいただきたい。

その後、R7年～R11年までに取り組むべき課題の整理をし、今年度のまとめをおこなう。

令和6年6月ごろに第1回目の審議会を開催して、令和5年度の振り返りと取り組むべき課題の説明をしてご意見をいただく。

その後、5年後に達成したい目標値の設定の検討を事務局でおこない、第2回の審議会でご意見をいただく。

その後、施策の柱、基本理念の検討を事務局でおこない、第3回の審議会でご意見をいただく。

その後、答申案を事務局で作成し、パブリックコメントを準備し、審議会から答申をいただきたい。

その後、パブリックコメントで提出された意見の整理と意見に対する対応の検討を事務局でおこない、ご意見をいただく必要があれば、第4回の審議会を開催する。

最後に教育委員会から計画案の決議をいただく流れを考えております。

市丸会長： 報告、審議事項について、質疑がないか

大塚課長： 本日のメインがスポーツ推進計画の策定となっており、市の方向性を示させていただいておりますので遠慮なく質問等あればいただければと思う。

末永副会長： アンケート集計結果は、見る事が可能なのか。解釈が人によって異なるので集計後の結果ではなく、アンケートの原文が見たい。

上田係長： 可能である。

市丸会長： 過去にそういった事例（解釈が異なる）があったのか

末永副会長： 事例があったわけではないが、市のアンケートや宗像ユリックス等のアンケートを見ても集計後は、数字の結果だけになるので、原文を見て見識を広げられたらと思っている。

大賀委員： R6年度のスケジュールの目標値の検討より先に施策の柱、基本理念の検討をおこない、取り組むべき課題を整理する必要があるのではないか

上田係長： 基本理念など総合的な目標を示して、課題を設けて、目標値を設定するやり方もあるが、今回は、課題を整理し、課題の解決に必要な取り組み等を考えながら5年後に目指したい数値目標を考えて、トータルとして最後に掲げる目標を決めていきたいと考えている。

個別の課題をまとめて最後に大きな目標を作っていきたい。

大賀委員： 全体の目標から個別目標が通例の考え方と認識していたので違和感があった

上田係長： 今回のやり方については、福岡市が推奨しているやり方を参考にさせていただきました。

私自身、大きな部分から決めていくやり方を今までおこなってきたが、個別の目標がすべて含まれた目標が最後に総括している福岡市のやり方が非常に理論的であり、順番として非

常にいいやり方ではないかと考えているので今回はこのやり方でいきたい。

西村委員： 市民アンケートの人数が2,000人程度となっているが、それが妥当なのかとその算出方法はどうしたのかとアンケートの配布方法はどうか考えているのか。

上田係長： アンケートの総数については、宗像の人口規模から考えて有効なアンケートの総数は、最低500は必要である。

毎年おこなっている市民アンケートの回答率が約3割になっており、少なくとも500の回答は集めたいと考えているため、2,000人に配布すれば最低限は獲得できると見込んでいる。

配布方法については、市民課に依頼して無作為で各年代、性別で同じ母数になるような人数で個人情報を出して、宗像市の厳重な管理のもと郵送でアンケートをおこなっていく。

末永副会長： アンケートの抽出の対象者が、各年代、性別ということだが、家庭環境までには必要ないと思うが、障がい者や経済的な事情がある方、地域ごとであったり等のその他の社会的な要素は抽出の対象に入れないのか。

上田係長： 障がいの有無と困窮の情報については、アンケートでそこまでの情報をもらうのは困難であることが想定される。

末永副会長： 抽出したあとにそのような括りで対象者を絞っていくことはできないのか

上田係長： 福祉サービスをおこなっている部署は、障がい等の情報は持っているが、障がいを持っていることを知られたくない方もいるため、そういった情報をもらうことにハードルが高い可能性がある。

南参事： 結論から言いますと、個人情報保護法がありますので法的にできない。

結果的に含まれる分には問題ない。バランスのとり直しに関しましては、今年実施した市民アンケートの回答者の60%が60歳以上であった。

そうあってはならないので低年齢の対象者を増やして結果として各年代同じ回答数を確保する（60歳以上の3倍の人数を低年齢の対象者として準備する）調整は可能である。

所得や障がいの情報を特定の情報を持っている部署以外が使用することは原則として法令違反となる。

法令で認められている場合は、謳われているが今確認している範囲では確認できないので、きちんと調べてから回答したい。

末永副会長： 情報を持っている部署がアンケートをとる場合は問題ないのか。

南参事： その場合は、可能である。別の事業では、福祉政策課に協力していただいたことがある。

末永副会長： 関係部署に協力依頼して、独自で各部署がアンケートをとり、それを文化ス

スポーツ課がとりまとめたという形をとることは可能ではないか

南参事： その可能性はあると思います。

別の事業では、福祉政策課がとったアンケートと文化スポーツ課でアンケートを合わせた形をとった。

関係部署の協力を得ることができれば不可能な話ではない。

現状想定しているアプローチの仕方では、法令違反にあたる。

市丸会長： アンケートの項目の中に障がいの有無、年収等の項目を入れることはできるのか

南参事： 項目として入れるのは問題ない。

あくまで事前に情報をもらうことができないということ。

市丸会長： その他に質問等ないか。

(質問等なし)

7 その他

大塚課長： 事務局から部活動改革の現在の取組みとニューススポーツフェスの報告についての2点報告を行う。

はじめに、ニューススポーツフェスから報告する。

井上： スポーツ推進委員の指導の下、宗像ユリックス2階の市民ギャラリーにて7月16日～7月30日の約2週間実施した。

ニューススポーツの知名度の向上、宗像ユリックスの賑わいの創出、健康で元気な宗像市民を増やすための機会の創出を目的としておこなった。

来場者数は、2週間で1,547名となった。

大塚課長： ニューススポーツフェスには、今回委員にもなっているスポーツ推進委員副会長の石松委員もご協力いただいた。感想等あればお願いしたい。

石松委員： ニューススポーツの使用方法だけでなく、ニューススポーツを通して参加者とコミュニケーションを取りながらゲームの楽しさを伝えることができたのは良かった。

大塚課長： 同じ方が2回来場されたり、かなり賑わっていた。2週間で1,500人という数字もかなり多い人数が来場されている。

南参事： 市民ギャラリーで行うイベントは、通常2週間で来場者数は500人程度であり、市直営のイベントでも1,000人を超えることはなかなかない。

ユリックスは、文化だけの施設ではないので、イベントホールでヨガ教室を実施したりなど夏場でも体を動かせる環境づくりをユリックスでも取り組んでいる。

市丸会長： 1,547 人の内訳は、2 回来場された方は 2 でカウントされているのか。

南参事： カウントしている。

吉丸係長： 部活動改革の取り組みについて、資料に沿って説明させていただく。

宗像市の中学生スポーツの新事業として 2023 年 9 月からむなかたアカデミー教室をおこなう。

主催は、宗像市で企画・運営を株式会社グローバルアリーナに委託して実施する。

種目は、現在の部活動種目のサッカー、剣道、軟式野球、バスケットボール、柔道、バレーボール、卓球、ソフトボール、ソフトテニス、陸上短距離、陸上長距離の 10 種目 11 教室を実施する。

実施日については、令和 5 年度の 9 月から宗像市立中学校の部活動実施が削減される「第 1 土曜日およびそれに続く日曜日」に、各種目月 1 回開催する。（土曜日開催と日曜日開催両方あり）令和 5 年 9 月から令和 6 年 3 月まで月 1 回、計 7 回実施する。教室によっては、公式試合などで、第 1 土曜日曜日以外に設定することもある。

参加条件は、宗像市在住の中学生で、「より専門的なスキルを学ぶ」という意欲をもつ生徒としている。

参加費が、社会体育の位置づけとなり新たに保険の加入などが必要となるため 3,000 円（保険代 800 円、その他消耗品等購入費含む）。

各指導者は、グローバルアリーナに集めていただき、専門競技の有志の方や兼職兼業の教員の方、東海大福岡高校の各部活動の指導者の方をお願いしている。

申込締切は、先日の 2023 年 7 月 31 日（月曜日）で終了しており、申込者数は、154 名となっている。

申込が一番多い種目は、ソフトテニスの 32 名、続いてサッカーの 21 名、バスケットボールの 20 名のようになっている。

この取り組みは、今後の部活動の地域移行に伴う地域クラブの体験をしてもらいたいというのが大きな狙いである。

市丸会長： 質問等はないか。

市丸会長：（部活動で所属している等の）種目を超えて申し込んだ方はいるか。

吉丸係長： 委託先のグローバルアリーナに確認したところ、2 種目を申し込んでいる方は確認している。

所属の部活動と異なる種目に申込もあっている。詳細の数までは確認ができていない。

市丸会長： 村山委員に確認したいが、中学校の部活動で複数の部活に所属することは可能か。

村山委員： それは、中体連の規定によってできないことになっている。

市丸会長： 将来的に、野球とサッカーの掛け持ちなどできるといいと思っている。

村山委員： アカデミー教室の申込締切が7月31日となっているが、2学期以降にやはり部活動に満足できないなどの理由で途中から参加することは可能なのか。

吉丸係長： グローバルアリーナと協議中ではあるが、途中からの参加も受け入れていく方向である。

村山委員： 参加条件が宗像市在住の中学生となっているが、中体連は宗像区（福津市含む）で動いていることから福津市の学校からも問い合わせがあっていると聞いている。

また、合同部活動というものがあり、ソフトボールは、宗像（城山中）と福津（福間東中）で合同チームを組んでおり、チーム内で参加できる子とできない子が出てきてしまうが、宗像市在住というのは、動かせない条件なのか。

大塚課長： まず、第1土曜日とそれに続く日曜日が休養日になることが宗像市と福津市の教育委員会で足並みを揃える形で決定した。

福津市の子どもたちも受入できないか検討したが、予算執行を宗像市の予算でおこなっている以上は、認めることができないという結論に至った。

その後、その決定を受けて福津市は、休養日を第1土曜日とそれに続く日曜日ではなくどこかの土曜日とそれに続く日曜日に変更となった。

末永副会長： 福津がお金を出すことで一緒にできないのか。

大塚課長： 宗像市は、国の実証事業ということで昨年から予算化して動いていた。福津市は、今から部活動改革に動き出そうとしているところで全く予算化していなかったのでできなかった。

釜瀬委員： アカデミー教室の取組は、子どもたちにとってはすごくいいものだと思っている。しかし、指導者や場所が今後も変更なく継続されていくのか。

大塚課長： 今年度は、第1土曜日と日曜日が休養日で来年度からは、第1土曜日、日曜日に加えて第3土曜日と日曜日も部活動が休養日になる予定となっているが、現時点では来年度の動きは決定していない。

宗像市は、地域クラブの立ち上げも進めているのでそちらの状況を見ながら、足りない部分を補う形でアカデミー教室を実施してすべての子どもたちがスポーツをできる状況を作っていきたい。

釜瀬委員： 要望に近い形にはなるが、宗像市の予算といっているが広く言えば国の予算になるので、福津市の子どもたちにも参加や体験場を提供してあげてほしい。

大塚課長： グローバルアリーナや福津市とも今後の方向性について協議はおこなっていくつもりだが、福津市は福津市で検討してもらうのが望ましいとは考えている。

ただ、人数が少ない種目など福津と連携した方が良い種目も出てくる可能性もありますので、状況を見ながらグローバルアリーナも交えながらやっていければと思っている。

市丸会長： 来年度から第１土曜日、日曜日に加えて第３土曜日と日曜日も部活動が休養日になるということだがそれはどのレベル（国や県や市）で決定している話なのか。

大塚課長： 宗像市と福津市独自で決定している。

市丸会長： 休養日については将来的には、国のレベルで決まるものなのか。

大塚課長： それは、わかりません。

しかし、国が発出している指針では、令和８年度からできるところから土日の部活動は、地域に移行することとなっている。

市丸会長： その他に質問等ないか。

（質問等なし）

８ 閉会

市丸会長： 以上を持ちまして、第１回宗像市スポーツ推進審議会を閉会する。

大塚課長： 最後に、次回の審議会については、会議の中での予定では９月となっているが今のところ１１月末～１２月上旬ごろになりそうなので準備が整い次第日程調整をさせていただく。

令和５年１２月５日

署名 青野 慎一

署名 石松 幸子